

[illegible]

仮設工

一 工事用道路工

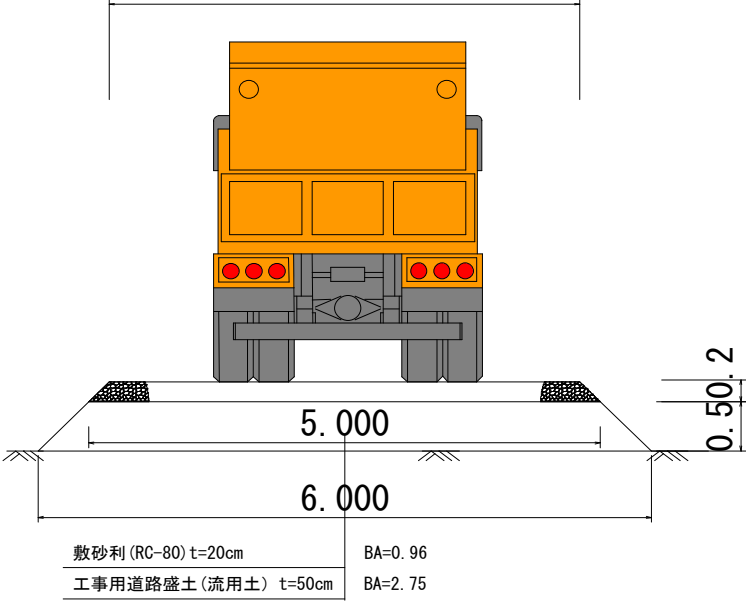
数量集計表

細 別 / 項 目	規 格 / 区 分	単位	設 計 数 量		摘 要 (条件、特記事項等)
			当初	第1回変更	
工事用道路盛土		m3	830		単位数量 100m2(1000m3未満は10m2)
整地	ルース敷均し	m3	828		
積込み(ルース)		m3	870		
土砂等運搬	L=10.7km	m3	870		
敷砂利		m2	870		単位数量 10m2
整地	ルース敷均し	m3	181		
切込碎石	C-80 t=20cm	m3	190		
敷鉄板	22×1524×6096	m2	502		単位数量 1m2
設置・撤去		m2	502.2		
賃料	N=57日	枚	54		
変更・増工理由	当初				

仮設工 ー 工事用道路工

名称	算 定 式				数 量
工事用道路盛土 (敷均ルース)	道路延長	断面積			
	225.0 m	× 2.75 m ²	=	618.8 m ³	828 m ³
	積込みヤード面積(CAD求積より)				
	418.8 m ²	× 0.50 m	=	209.4 m ³	
積込(ルース) 土砂等運搬 (L=10.7km)	Σ A=	643.8 m ²			
			合計=	828.2 m ³	
	仮設のため割増率は1.05とする。				870 m ³
	L=10.7 km		=	828.2 m ³	
国道279号 場内	828 m ³	× 1.05	=	870 m ³	
	10.3 km+	0.4 km	=	10.7 km	

仮設工 ー 工事用道路工

名称	算 定 式	数 量
敷砂利 (C-80 t=20cm)	除根ができないため幅員は広めにとる。(転落防止) 道路延長 敷鉄板延長控除 $225.0 \text{ m} - 6.096 \times 6 \text{ 枚} = 188.424 \text{ m}$ 延長 幅員 $188.424 \times 4.6 = 866.8 \text{ m}^2$ 敷砂利延長 断面積 割増率 $188.4 \text{ m} \times 0.96 \text{ m}^2 \times = 180.9 \text{ m}^3$ $188.4 \text{ m} \times 0.96 \text{ m}^2 \times 1.05 = 189.9 \text{ m}^3$	866.8 m² 180.9 m³
敷鉄板 (22*1524*6096)	集積・積込箇所は変化するため、敷き鉄板で計上する。 作業ヤードは埋蔵文化財調査との輻輳を考慮して移動しやすい敷鉄板とする。 $9.3 \text{ m}^2/\text{枚} \times 54 \text{ 枚} = 502.20 \text{ m}^2$	54 枚 502.2 m²
4. 600  敷砂利 (RC-80) t=20cm BA=0. 96 工事用道路盛土 (流用土) t=50cm BA=2. 75		

レベル2

共通仮設

レベル3

－ 運搬費

数量集計表

レベル4

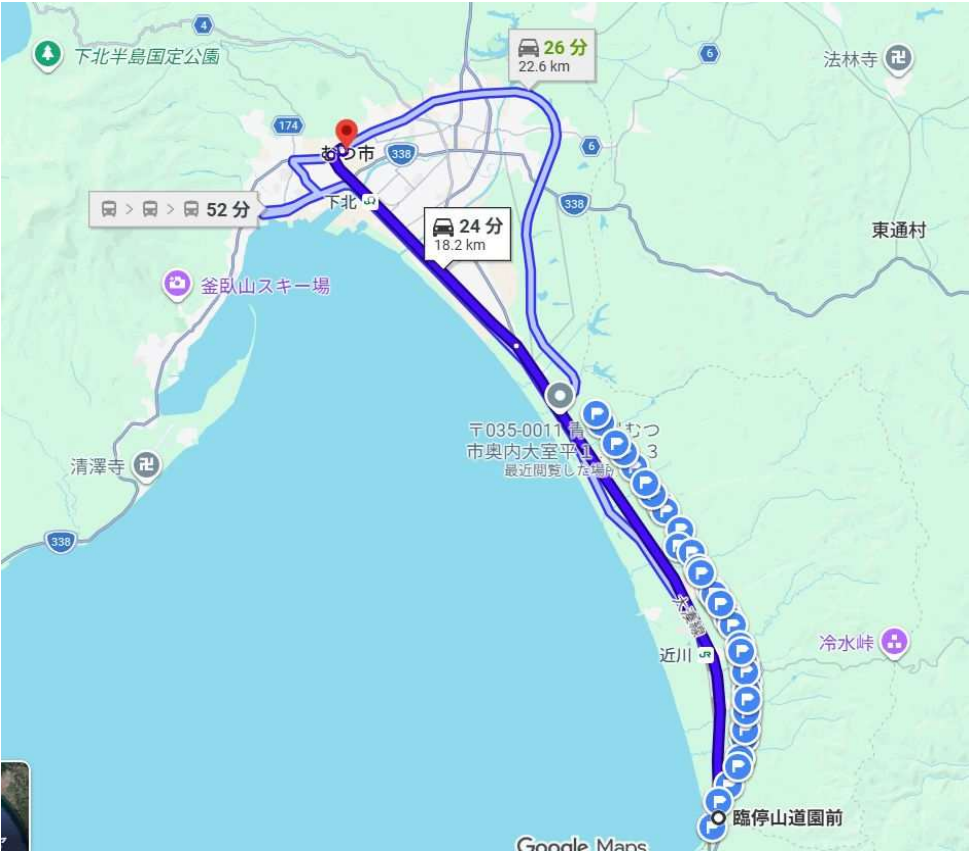
レベル5

細 別 / 項 目	規 格 / 区 分	単位	設 計 数 量		摘 要 (条件、特記事項等)
			当初	第1回変更	
仮設材運搬	東北	t	86.62		単位数量 0.001t(鋼材は3桁)
仮設材等の運搬	往路L=18.2km	t	86.616		N=54枚
仮設材等の運搬	復路L=18.2km	t	86.616		
仮設材等の積み取り 卸し費	往復L=18.2km	t	86.616		
変更・増工理由	当初				

仮設工計算書より

$$N = 54 \text{ 枚} \times 1.604 \text{ t/枚} = 86.616 \text{ t}$$

最寄りの陸運事務所若しくは市役所までの距離とする。



レベル2

レベル3

共通仮設

一 準備費

数量集計表

レベル4		レベル5			
細 別 / 項 目	規 格 / 区 分	単位	設 計 数 量		摘 要 (条件、特記事項等)
			当初	第1回変更	
伐木運搬処理		式	1		単位数量 1式
伐倒	6cm未満～70cm以上	本	827		A=17,858m2
場内運搬集積	6cm未満～70cm以上	本	827		
2次積込	6cm未満～70cm以上	本	827		
木根等運搬	L=34.8km	m3	179.1		
枝葉	有価売却処理	t	121.8		
変更・増工理由	当初				

レベル2

共通仮設

レベル3

ー 準備費

数量集計表

レベル4

レベル5

細 別 / 項 目	規 格 / 区 分	単位	設 計 数 量		摘 要 (条件、特記事項等)
			当初	第1回変更	
事前準備費		ha	2.45		単位数量 0.01ha
用地境界仮杭設置	測量技師	人	1.89		0.77人/ha $1.1 \times 0.7 \times 2.45 = 1.887$
	測量技師補	人	1.89		0.77人/ha $1.1 \times 0.7 \times 2.45 = 1.887$
	測量助手	人	1.89		0.77人/ha $1.1 \times 0.7 \times 2.45 = 1.887$
	測量補助員	人	1.37		0.56人/ha $0.8 \times 0.7 \times 2.45 = 1.372$
機械経費		式	0		共通仮設費(率)へ含む
測量ポール	木製ポール H=2.0m	本	69		
変化率	原野	式	-0.3		
変更・増工理由	当初				

伐採前に用地測量のうえ、伐採範囲を明確にする作業。
基準点及び用地座標については別途貸与。
境界及び附番を行うものとする。

レベル2

共通仮設

レベル3

ー 準備費

数量集計表

レベル4

レベル5

細 別 / 項 目	規 格 / 区 分	単位	設 計 数 量		摘 要 (条件、特記事項等)
			当初	第1回変更	
事前準備費		式	1		単位数量 0.01ha
バックホウ運転	0.8m3級	日	10		概算
変更・増工理由	当初				

対象面積 A= 24,551m2

共通仮設

－ 準備費

木根等処分

名称	算 定 式	数 量
運搬 (枝葉)	再生エネルギー原材料とする。 L= 34.8 km 過年度実績より 0.68 t/m3 伝票で管理、精算する。 121.8 ÷ 0.68 = 179.1 m3 受け入れ地は、むつ市大畑地内を想定し有価売却処理を想定 ※ 受け入れ地までの運搬は産業廃棄物扱いとなるため、適正な許可を持った業者が運搬するものとする。	121.8 t 179 m3
伐木	別添数量表より (概算数量) 胸高 6cm未満 159 本 6cm以上10cm未満 92 本 11cm以上20cm未満 253 本 21cm以上30cm未満 177 本 31cm以上40cm未満 88 本 41cm以上50cm未満 34 本 51cm以上60cm未満 13 本 61cm以上70cm未満 11 本 合計 827 本	827 本

立木伐採集計表(中野沢IC)

地権者	住所	地番	6cm未満	6cm以上 10cm未満	11cm以上 20cm未満	21cm以上 30cm未満	31cm以上 40cm未満	41cm以上 50cm未満	51cm以上 60cm未満	61cm以上 70cm未満		伐採面積 (m2)	用地面積 (m2)
	大字中野沢字畑野沢	10-6	14	10	23	19	4	5	0	0	0	569.75	3,315.37
	大字中野沢字畑野沢	10-7	5	10	31	21	10	1	1	1	1	1,196.19	4,151.92
	大字中野沢字畑野沢	10-8	40	34	56	41	18	11	4	6	1	6,109.53	8,270.00
	大字中野沢字畑野沢	10-10	109	26	77	70	25	12	7	1	0	3,771.82	3,771.82
	大字中野沢字畑野沢	10-11	21	29	81	64	18	8	1	1	0	6,847.40	6,847.40
	大字中野沢字畑野沢	10-13	7	4	43		32	4	2	1	0	3,612.61	3,612.61
	大字中野沢字畑野沢	10-2				3	1					0.00	60.57
		10-3											71.07
		10-93											67.56
		10-5											68.53
		10-6											69.42
		10-7											86.84
	大字中野沢字畑野沢	10-8			1							0.00	0.00
合計			196	113	312	218	108	41	15	10	2	22,107.30	30,393.11
面積補正数量			159	92	253	177	88	34	13	9	2	17,858.00	24,551.17
仮杭設置(標識)設置本数			69										

設計伐採面積17,858 m2

※CAD求積による

比率0.80778747

補正Σ = 1,015 本

Σ = 827 本

仮杭設置(標識)設置

境界数 69本へ測量ポールを設置し、附番(測量テープ等)まで行う作業とする。

枝葉150.8 t

再生エネルギー原料とする。

持込先 青森県むつ市大畑町

121.8 t

運搬は産業廃棄物運搬許可を持つ業者が行うものとする。

買取

スギ		m3
アカマツ		m3
ヒバ		m3
広葉樹		m3

※買取可能な幹材を精査するものとする。